

あかし保健所管内 感染症発生動向調査(第44週) 2018年 10/29~11/4

あかし保健所 保健予防課 感染症対策係
電話:078-918-5421

【定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数)】

小児科定点(7医療機関)

疾病名称\週	40	41	42	43	44
RSウイルス感染症	1.14	0.86	0.71	1.29	0.00
咽頭結膜熱	0.14	0.00	0.00	0.29	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.29	1.43	0.71	0.86
感染性胃腸炎	4.57	4.00	4.57	4.57	5.86
水痘	0.14	0.29	0.43	0.14	0.29
手足口病	2.14	0.43	0.57	1.29	1.29
伝染性紅斑	0.14	0.14	0.00	0.00	0.43
突発性発しん	0.43	0.43	0.29	0.00	0.43
ヘルパンギーナ	0.57	0.29	1.14	0.57	0.29
流行性耳下腺炎	0.14	0.14	0.14	0.00	0.14

インフルエンザ定点(11医療機関)

疾病名称\週	40	41	42	43	44
インフルエンザ	0.09	0.00	0.00	0.09	0.18

眼科定点(2医療機関)

疾病名称\週	40	41	42	43	44
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00

※定点医療機関あたり患者数とは

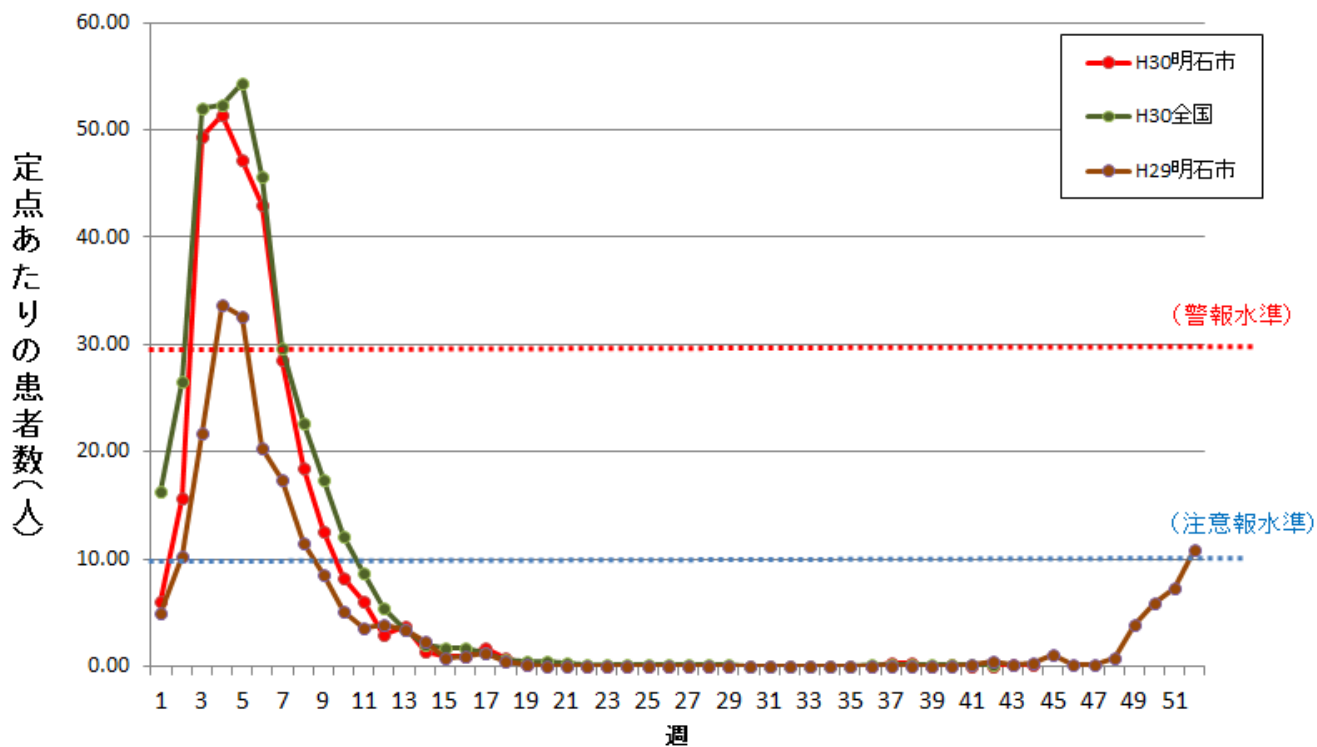
定点医療機関とは、保健所に一定の基準に従い、感染症の発生状況を報告してもらった医療機関のことです。

また、定点医療機関あたり患者数とは、一週間に一つの定点医療機関から、どのくらいの報告があったかを表す数値で、この数値によって各地での感染症の流行を把握することができます。

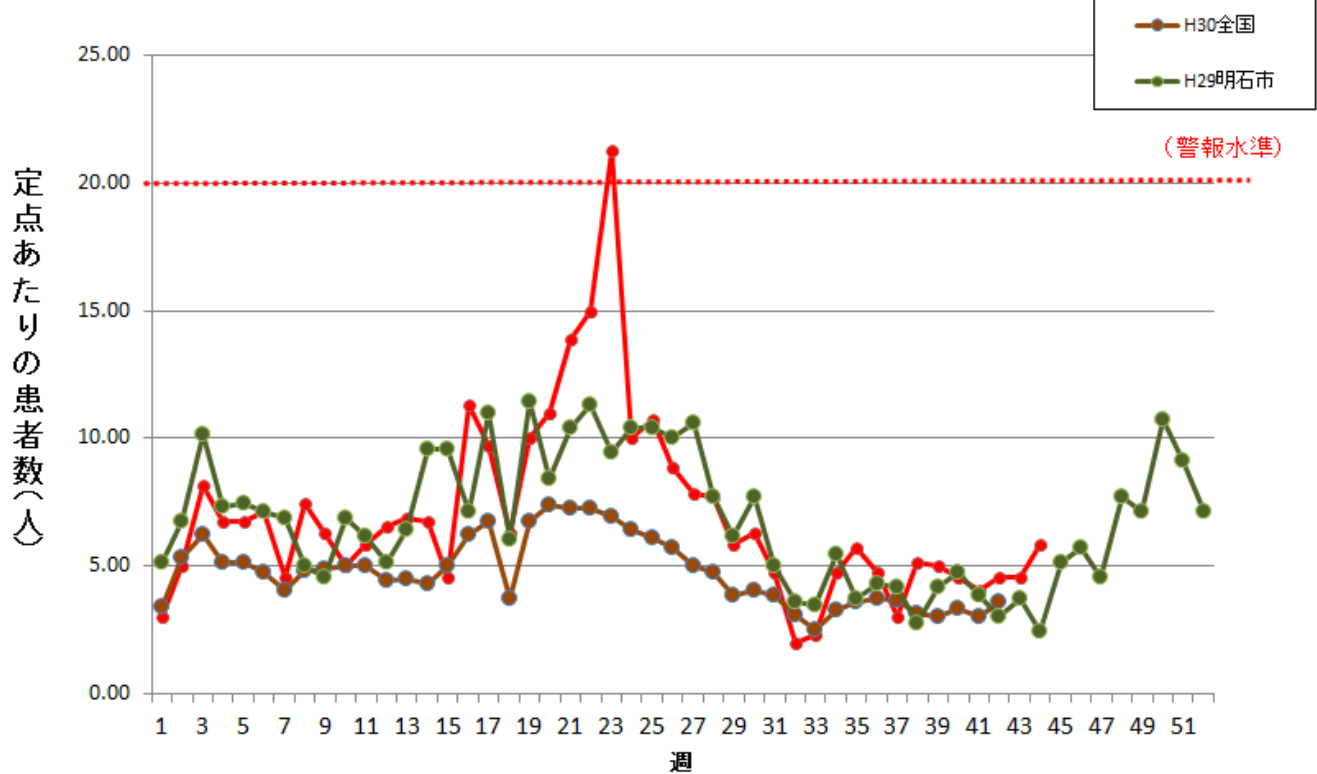
たとえば、あかし保健所管内で感染性胃腸炎の報告が合計20件あったとすると、定点医療機関あたりの患者数は、報告数(20件)をあかし保健所管内の定点医療機関数(7医療機関)で割り算をします。そうすると、定点医療機関あたりの患者数が計算できます。

この場合は、 $20 \div 7 = 2.86$ となります。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数



定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



あかし保健所管内 感染症発生動向調査(第44週) 2018年 10/29~11/4

あかし保健所 保健予防課 感染症対策係
電話:078-918-5421

【全数把握対象感染症発生状況】

感染症分類	疾病名称\週	2016年	2017年	2018年					
				40	41	42	43	44	H30.1週~累計
二類	結核	54	69	1	2	1	1		71
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	2					1	11
	細菌性赤痢								1
四類	E型肝炎						1		1
	デング熱	1							1
	日本紅斑熱								1
	レジオネラ症	3	3		1		1		9
五類	アメーバ赤痢		2			1			3
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎、E型肝炎を除く)	1	1						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1				2
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	4				1		21
	梅毒	10	8						8
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		5						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2			1		1	3
	後天性免疫不全症候群		1						2
	播種性クリプトコックス症		1						0
	百日咳※	-	-						3
	麻疹		2						1
	風しん								1

※百日咳は2018年1月1日から五類感染症の全数届出対象となりました。

感染性胃腸炎が増加しています！

明石市内の定点医療機関あたり患者数が、2018年第44週に5.86人(第43週 4.57人)となり増加しています。ウイルスおよび細菌による感染性胃腸炎については、例年、11月下旬から患者数が増加し始め、12月中旬頃にピークを示す傾向にありますが、感染力が強く一年を通して発生しており、日頃から注意が必要です。

予防方法

- ・日頃から、調理前後・食事前・トイレの後など、石鹸を使って、しっかり手洗いをしましょう。
- ・手洗い後のタオルの共用はせず、個人用のタオルやペーパータオルを使用しましょう。
- ・便や嘔吐物を処理する際は、十分な換気を行い、嘔吐物処理のセットを使用しましょう。

感染性胃腸炎にかかったら

- ・感染後1~3日で通常回復しますが、嘔吐・下痢による脱水症状を起こすことがあるため。早めに医師の診察をうけましょう。
- ・二次感染を予防するため、症状のある間の入浴はシャワーのみにするか、最後に入浴するようにしましょう。
- ・症状が治まってからも、約2週間程度は便にウイルスや細菌が排出するとの報告がありますので、手洗いをしっかり行いましょう。